



去私利他

【衆議院議員山本幸三季刊誌】

【発行】山本幸三事務所 〒100-8982
千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館915号
TEL (03) 3508-7085 FAX (03) 3501-9303
mail yamamoto-office@seagreen.ocn.ne.jp
H P http://www.yamamotokozo.com

自民党 Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN

【討議資料】
2020年(令和二年)6月発行



(↑6月1日 三原朝彦議員と西村康稔大臣へ要望に。)
(↓災害対策特別委員長として参委員会へ出席。)



北九州市でも第二波？
新型コロナウイルス感染症は、依然として全世界で猛威をふるっています。我が国でも、一月一六日に初めて感染者が確認されて以降、感染が全国へ拡大。三月には全国全ての小中高学校の臨時休校措置や夏の東京オリンピック・パラリンピックの開催延期、そして四月一六日には、緊急事態宣言が全国へ発令されました。感染拡大防止のため、外出の制限が止まり、猛スピードで実体経済は縮小しています。悪影響を受ける業種も多岐にわたり、もはやこの事態は、リーマン・ショック以上の悪性の不況、「コロナ・ショック」と我々は捉えています。

また、わが北九州市でも四月三十日以降、二三日連続で新規感染者はいなかったものの、五月二三日より、新規感染者が続々と確認され、「第二波」の入り口(北橋健治・北九州市長)との事態を招きました。選出議員としては、いち早く事態の把握と対応に動き、六月一日には、三原朝彦衆議院議員とともに、西村康稔担当大臣へ面会。市へ派遣されたクラスター対策班の状況を伺うとともに、検査体制・キットの拡充や国による二回目の抗体検査地域へ北九州の選定、二次補正予算に盛り込まれた地方創生交付金の北九州への特段の配慮を力強く要望しました。西村大臣からも、北九州市をコロナへ立ち向かう「モデル都市」として捉え、国として可能な限りの支援を行っていく旨ご返答頂きました。

第201回通常国会 閉会

新たな日常を取り戻す 補正予算成立

た。今後も事態の推移に注視し、北橋市長他関係者と協力し全力で対応にあたっていく決意です。わが党では、100年に一度の国難と言われる中で、これらの状況に対応すべく、一月二七日に、新型コロナウイルス関連肺炎対策本部を立ち上げ、感染症対策、経済対策など幅広く議論を行い、政府へ申し入れを随時行っています。詳しくは裏面で後述しますが、私は早期に、国民全員への一律の現金給付を迫ったほか、医療現場の声を聞きながら、PCR検査等の検査体制の充実を要請してきました。また、党金融調査会長として、財務省・金融庁と早くから政策金融の取組みについて議論・調整を行い、政策金融機関を活用した、事業者の資金繰り支援の強化を訴え、党の意見を集約してまいりました。こうした様々な意見集約を経て、六月一二日には、今年度第二次補正予算が成立。一次補正予算と合わせて事業規模230兆円、GDPの四割に上る対策となっています。

さて、六月一七日には通常国会が閉会し、同一九日より県を跨いだ移動も許可されました。私も早期に地元北九州へ戻り、選挙区の皆様の生の声を聞きながら、更なる対策・今後の議員活動へ活かしてまいります。本年後半も変わらぬご指導ご交誼を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

事務所からのお願い☆☆



- ◆山本幸三後援会へのご入会
福岡10区(門司区・小倉北区・南区)にお住まいの方をご紹介下さい。
- ◆自由民主党員の拡大
自由民主党にご入党くださる方を募集しています。(年会費4,000円、同じ住所のご家族はお一人2,000円)
- ◆ポスター・看板の掲示
場所をご紹介ください。スタッフが取り付けに伺います。
- ◆集会・勉強会・講演会の開催
少人数から、WEB会議でも参加させていただきます。
- ◆朝礼や地域行事、趣味等でお集まりの場でご挨拶
数分でも構いませんので、お誘い頂けると幸いです。
- ◆SNS(Twitter、Facebook)のフォロー
TwitterやFacebookでも日々の活動を更新しています。ぜひ、フォローしてください。 Twitter:@yamamotogiin Facebook:https://www.facebook.com/yamamotokozogiin

最新情報は
こちらをチェック！ 山本幸三公式facebookページ
<https://www.facebook.com/yamamotokozogiin>



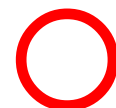
新 型
コ ロ ナ



議員26年目の挑戦



【全国民一律10万円給付】



(達成!)



(政府に対して様々提言を申し入れています)

今回、新型コロナウイルス感染症を「国民の皆様と共に乗り越えていく(安倍晋三内閣総理大臣)」ために、**全国民に対し一律10万円の現金給付**が実施されています。

私は、党の新型コロナウイルス感染症対策本部で3月初頭より、一度政府方針が”住民税非課税世帯等への30万円給付”となった中でも、消失した所得を補う意味で全国民への一律20万円給付を訴えていました。当初私の想定していた最速の給付方法は、窓口への殺到、感染リスクを抑える点も含めて、布マスクを郵送したように指名型政府小切手によるものでした(実現には至りませんでした)。結局政府は5月より、10万円の現金給付をマイナンバーによるオンライン・郵便申請で実施したものの、各自治体で目視による振込口座と本人確認作業を行う等、システムの脆弱さが露呈しました。

今回の事態を受けマイナンバーと銀行口座を紐づける法改正なども控えているようですが、私としては、毎年の確定申告の際に提出する還付口座を、様々な給付を行う際活用できないか、政府・国税庁とも相談をしていく考えです。

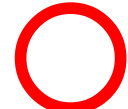
【持続化給付金】



(一部、拡充の実現はしたもの…)

売上げが大きく(50%以上)減った中堅・中小法人に200万円、個人事業主に100万円支給する、**史上初めて**の事業者向け給付金制度、**持続化給付金**。申請開始当初から、一部で審査に想定以上の時間を要すなど問題はありましたが、全国各地にサポート会場を設けるなどしてこれまで**150万件超**に支給を行い、支給総額は**2兆円**を超えています(6月末現在)。なお、初期の支給条件から外れてしまう事例を様々地元から伺っており、政府・中小企業庁に要望を行ったところ一部拡充されています。↓↓

・コロナ禍の直近2020年1～3月に創業した事業者
・事業収入だけでなく、主たる収入を **雑所得・給与所得**で確定申告した個人事業者も対象に。



6月29日より適用対象に!

・制度開始後初期に申請したものの、審査・支給が遅れている方々への個別の対応を。



新たに、支給されていない事業者
者に個別に対応するため、100人の専門チームを設置!

・不給付団体へ指定されている**宗教法人**も対象に。



これまでの事例を含めて、慎重に判断と、二次補正予算でも対象外。引き続き要望を。

・売上げ減少要件50%以上が厳しく、35～50%減など対象を拡大へ。



対象外。現状では、同要件に合致する福岡県・北九州市の支援策等に対応。要望継続へ。

【新たな日常へ】



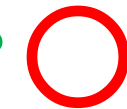
(挑戦中!)



(地元、小倉薬剤師会平川会長との会議の様子)

◆コロナ禍のオンライン会議
緊急事態宣言の発令後、中々地元に戻れない中で、どうにかして地元の皆さんの声を聞こうと、苦手意識のあった?オンライン会議に挑戦。やってみると意外にもスムーズで、資料を活用した省庁とのレクや時差のある国際会議でも活用できそうです。今後は、地元の会合でも使っていく予定ですので、ご興味のある方はご連絡ください。

【文化芸術活動へ支援】



(達成!)



感染症対策の詳細については、事務所までお問合せ下さい。(山本幸三Twitter) ↑

党文化立国調査会顧問として感染症拡大で活動自粛した芸術家、表現者らを対象にした支援策を要望してきました。(予定)
↓

- ・個人のフリーランス
→最大**20万円支給**
- ・小規模団体
→最大**150万円支給**
- ・観客として
→チケット代の一部を**減税措置**